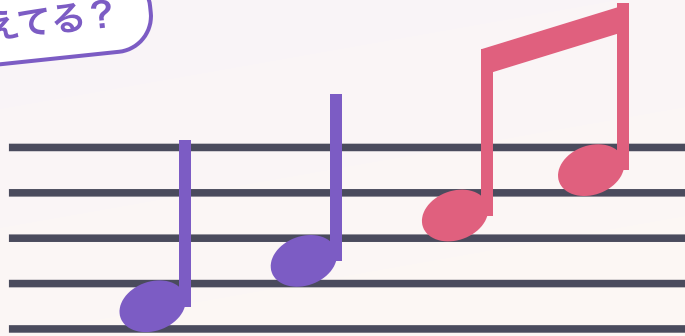


聴こえてる？



ぴったり重なった！

聴き合う

耳をひらくと、音がぴったり合う



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましよう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

聴き合うとは	3～6
合わせる耳	7～10
聴く力を育てる	11～15
伝え合う	16～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

聴き合うってどんなこと？

仲間の音を聴きながら演奏する意味を知ろう。

聴き合うとは、自分の音を出しながら、同時に仲間の音にも耳をかたむけることです。

一人で練習するときとちがい、アンサンブルでは「聴くこと」と「演奏すること」を同時に行う力が必要です。



聴き合う

listen to each other

お互いの音に耳をかたむけながら演奏すること

耳をひらく

open ears

まわりの音によく気づくこと

ポイント

- 自分の音ばかりに集中すると、まわりとずれてしまうことがあります。
- 聴きながら演奏する力は、練習を重ねることで少しずつ育ちます。

やってみよう

1. 合奏や合唱で、聴くことを忘れてしまった経験があれば書こう。

ワンポイント 最初は難しくても当然です。少しずつ「聴く量」を増やしていきましょう。

書いて覚えよう

自分の音を聴く・となりの音を聴く・全体の音を聴く

3つの聴き方のちがいを知ろう。

自分の音を聴く

自分の音程・音量・タイミングを確認
する

となりの音を聴く

いちばん近い仲間の音に合わせる

全体の音を聴く

グループ全体の響きやバランスを感じる

ポイント

- この3つを同時に少しずつ聴けるようになると、アンサンブルがぐっと合いやすくなります。
- 最初は1つずつ順番に練習するのがおすすめです。

やってみよう

1.今の自分は、3つのうちどれがいちばん得意ですか。

書いて覚えよう

- 曲の場面ごとに、いちばん聴かせたい「主役の音」が変わります。
- 主役の音を見つけられると、自分の音を出すべきか、ひかえるべきか判断しやすくなります。

ここはピアノがメロディだから、私はそっと支えるね。



1. 好きな合奏曲を1つ思い浮かべ、どのパートが主役かを書こう。

支える音の大切さを知ろう。

- 主役を引き立てる「脇役」の音も、アンサンブルには欠かせません。
- 脇役の音が控えめすぎても、大きすぎても、全体のバランスがくずれます。

1. 合奏の中で、脇役の音に注目して1曲聴いてみよう。気づいたことを書こう。

全体の音量を耳で調整しよう。

7

音の高さをそろえる耳を育てよう。

音の高さの正確さ

同じ高さの音をそろえて出すこと

- 同じ音を歌ったり弾いたりするとき、わずかな高さのずれにも耳を澄ませましょう。
- 高すぎる・低すぎると感じたら、少しずつ近づけていく意識が大切です。

1. 友だちと同じ音を「あー」と声に出し、ぴったり重なる高さを探してみよう。

音が重なったときの響きに耳をすまそう。

- 複数の音が重なると、それぞれの音だけでは生まれない新しい響きが生まれます。
- 響きが気持ちよく感じられるかどうか、聴き合いの大切な手がかかります。

やってみよう

1. 友だちと2人でちがう高さの音を同時にのぼし、響きの感じを書こう。

書いて覚えよう

2つのことを同時にする工夫を知ろう。

- 最初から完璧を目指さず、自分の演奏に余裕ができてから聴く量を増やしましょう。
- 自分のパートを体で覚えるくらい練習しておくと、耳への余裕が生まれます。

やってみよう

1. よく知っているフレーズを演奏しながら、同時に周りの音にも意識を向けてみよう。

書いて覚えよう

目を閉じて耳に集中しよう。

ポイント

- 目を閉じると、視覚に頼らず耳だけで音の位置や重なりを感じ取れます。
- 慣れてきたら、目を開けたままでも同じ集中力で聴けるようになります。

やってみよう

1. 目を閉じて30秒、まわりの音がどこから聞こえるか意識してみよう。気づいたことを書こう。

書いて覚えよう

- 演奏しているときは気づかないバランスの乱れも、録音を聴くと見つけやすくなります。
- 録音を聴くときは、良かった点も1つ以上見つけるようにしましょう。

1. 家族や友だちとの演奏を録音して聴き、気づいたことを1つ書こう。

聴き合いのゲーム

楽しみながら聴く力を鍛えよう。

ゲーム名

ルール

やってみた感想

Emmaの例

ゲーム名 まねっこリレー／ルール 1人が出した音を次の人がまねる／感想 だんだん集中して聴けるようになった

ポイント

- 「まねっこリレー」のように、遊びながら聴き合う力を育てるゲームもあります。

書いて覚えよう

いろいろな相手と聴き合う経験をしよう。

- いつも同じ相手とだけ合わせていると、聴き方が固定されがちです。
- 相手が変わるたびに、新しい聴き方や合わせ方が必要になります。

やってみよう

1. ふだんと違う友だちと、簡単なリズムを合わせてみよう。

書いて覚えよう

feedback

聴いた感想や気づきを相手に伝えること

- 「もう少し音を大きくしてみようか」など、具体的な言葉で伝えると伝わりやすくなります。
- 良かった点も一緒に伝えると、次への意欲につながります。

1. 仲間の演奏を聴いて、伝えたい言葉を1つ考えて書こう。

一般社団法人文化芸術支援協会 | 聴き合う 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

時計の音や足音に意識を向ける

メロディだけ、伴奏だけに注目して聴く

友だちの話を最後まで集中して聴く

- 音楽以外の場面での「聴く練習」も、アンサンブルの耳を育てます。

- 練習のあとに「よく聴けたところ」「聴けなかったところ」をふり返ると、次に生かせます。
- ふり返りは、うまくいかなかったことを責めるためではなく、次への準備です。

1. 今日の練習で、よく聴けたところを1つ書こう。

書いて覚えよう

聴き合いの成果を発表しよう。

- 聴き合いがうまくいった演奏は、音がまとまり、聴く人にも心地よく伝わります。
- 発表の場は、聴き合う力を確かめる良い機会になります。

やってみよう

1. 友だちや家族の前で、聴き合いを意識した短い演奏を発表してみよう。

書いて覚えよう

聴いてくらべよう

聴き合えている演奏とそうでない演奏をくらべよう。

くらべるところ	聴き合えている演奏	聴き合えていない演奏
音のそろい方	ぴったり重なる	ずれが目立つ
バランス	誰の音も聞こえる	一人だけ大きい・小さい
聴いた感じ	_____	_____

ポイント

- 聴きくらべることで、「聴き合う」ことの効果がはっきり分かります。

やってみよう

- 合奏の音源を2つ聴きくらべて、気づいたちがいを書こう。

書いて覚えよう

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

仲間と聴き合う練習をしよう。

- A (音を出す) ラー
- B (同じ高さで合わせる) ラー
- A (音量を変えて) _____
- B (合わせて) _____
- A (役割を交代して) _____
- B (合わせて) _____

ポイント

- Aが出した音にBが合わせる練習から始め、慣れたら役割を交代しましょう。

ワンポイント うまく合わなくても大丈夫。何度も繰り返すうちに耳が育ちます。

書いて覚えよう

つまずきの原因と直し方を知ろう。

よくあること

集中しすぎている

まだ余裕がない

主役が分からない

こうしてみよう

無理をしない

余裕をつくる

合わせる相手を決める

1. あなたがつまずきやすいのは？

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

聴く言葉

☐ 聴き合う

お互いの音に耳をかたむけながら演奏すること

☐ フィードバック

聴いた感想や気づきを伝えること

音の言葉

☐ 音程

音の高さの正確さ

☐ ユニゾン

同じ高さの音をそろえて出すこと

役割の言葉

☐ 主役の音

いちばん目立たせたい音

☐ 脇役の音

主役を支える音

練習の言葉

☐ 録音

演奏を客観的に聴く方法

☐ ふり返り

練習のあとに気づきをまとめること

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|---------|---|----------------------------|
| 聴き合う | ● | ● ア. いちばん目立たせたい音 |
| 音程 | ● | ● イ. お互いの音に耳をかたむけながら演奏すること |
| ユニゾン | ● | ● ウ. 聴いた感想や気づきを伝えること |
| フィードバック | ● | ● エ. 同じ高さの音をそろえて出すこと |
| 主役の音 | ● | ● オ. 音の高さの正確さ |

2. 聴き方の3つの種類を書こう

1. _____
2. _____
3. _____

3. 合わせるべきことを2つ書こう

1. _____
2. _____

書いて覚えよう

書いて覚えよう

家でできる練習

毎日少しずつ、聴く力を育てよう。

朝

家の中の音を1つ意識して聴く

移動中

好きな曲の中の1つの楽器だけを聴く

すきま時間

目を閉じて30秒、音に集中する

夕方

家族の話を最後まで集中して聴く

夜

今日気づいた音の発見をノートに書く

週末

友だちと聴き合いのゲームをする

ポイント

- 聴く練習は、音楽の時間以外でも積み重ねられます。

書いて覚えよう

発表してみよう・感想を書こう

聴き合った演奏を人に伝えよう。

組んだ相手

聴き合った内容

工夫したこと

聴いてほしい人

Kenの例

組んだ相手 Emma／聴き合った内容 音程を合わせたユニゾン／工夫したこと 目を閉じて声を出した／聴いてほしい人 家族

感想を3文で書こう

① 聴き合いをして、～な発見がありました。② とくに、～のところが印象的でした。③ それは、～だからです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

聴き合う力の世界をさらに広げよう。

もっと知りたい人へ

演奏会へ

合唱や合奏を生で聴きに行く

録音で

自分たちの演奏を聴き返す

仲間と

もっと多くの人数で聴き合う

次のステップ

テンポ

速さをそろえる力

強弱

音の大きさを合わせる力

表現

気持ちを重ねて伝える力

ポイント

- この教材の次は、速さの感覚をそろえる「テンポを合わせる」です。

書いて覚えよう

聴き合うチャレンジ

教室の外でも、聴き合う力を試そう。

聴こう

友だちや家族の音にじっくり耳をかたむける

合わせよう

音程や音量を近づけてみる

伝えよう

聴いて気づいたことを言葉で伝える

こたえ

L26 聴き合う→イ 音程→オ ユニゾン→エ フィードバック→ウ 主役の音→ア 2. 自分の音 / とんりの音 / 全体の音 3. 音量 / 音程 / タイミング

L33 (例) 聴き合うとは、自分の音を出しながら仲間の音にも耳をかたむけること。

書いて覚えよう

聴き合う (Season 5 | No.44)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。